【研究課題の名称】
尿グラム染色による抗菌薬感受性の予測

【研究の目的及び意義】
尿路感染症の治療では尿培養結果が出るまでは経験的治療を行うことが一般的である。広域抗菌薬を用いて治療することで治療失敗の確率は減るが、その一方で細菌の耐性化が問題となるため可能な限り狭域抗菌薬での治療開始が望ましい。抗菌薬治療開始後は起因菌の感受性が判明するまでは熱型などの臨床経過を治療効果の判定に利用することが多いが、抗菌薬のエスカレーションのタイミングに悩まされることが往々にしてある。もしも、尿グラム染色のフォローで抗菌薬感受性を予測できるのであれば臨床的に利用価値が非常に高いと考えられる。*本研究の目的は抗菌薬治療開始後から48時間以内に尿のグラム染色フォローを行うことで、抗菌薬感受性を予測できるかどうかを明らかにすることである。*

【研究対象者の選定方針】
2013年4月1日～2019年10月8日の期間に洛和会丸太町病院で『腎盂腎炎』と診断され、抗菌薬治療開始後48時間以内に尿グラム染色がフォローされている患者。

【研究予定期間】
承認日（西暦2020年6月16日）から西暦2020年12月31日